

# 協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課
記入団体名	川越市女性ネットワーク

記入年月日	平成25年3月21日
-------	------------

予算事業名	男女共同参画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	男女共同参画情報紙発行	
協働事業の概要	男女共同参画情報紙の発行 発行日：(36号)9月15日、(37号)3月15日 内容：(36号)女性と「うつ」、現代ホンネの?～結婚観～ ほか (37号)DV(ドメスティック・バイオレンス)子どもの被害実態、～おひとりさまブーム～ ほか 発行部数：各5,000部 配布対象：市民及び公共機関等	
協働事業の決算額	610,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年7月2日 ～ 平成25年3月29日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)  
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	3	3.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	3	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	28.5点
------	-------



## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・発行された男女共同参画情報紙の内容（36号、37号）は、適切なものであるが、どちらかという日本全国に共通するものである。なかなか難しいと思うが、たとえばDVの記事（内容）では川越市で起った事例や傾向を取り上げ解説していただければさらに情報紙の価値は高まるのではないか。

・継続3年協働事業を行い、見直しが必要であるように感じた。情報紙の発行に加え、何らかの工夫でより多くの人に渡るようにしていただきたいと思います。

# 協働事業評価シート

部課名	福祉部子育て支援課
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

記入年月日	平成25年1月28日
-------	------------

予算事業名	次世代育成支援対策行動計画推進
-------	-----------------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	子育て体験学習	
協働事業の概要	<p>中学校で、赤ちゃんとのふれあい体験、妊婦体験、誕生学の出前講座を行う。          日時：平成24年9月27日（木）～11月1日（木）に実施          場所：市立中学校9校（川越西中、初雁中、高階中、霞ヶ関中、東中、霞ヶ関西中、大東中、福原中、霞ヶ関東中）          内容：1. 赤ちゃんとのふれあい体験及び妊婦体験          子育て中の親と赤ちゃんとのふれあい体験及び妊婦体験。          自分が生まれてきたことに喜びを感じてもらう。          2. 誕生学講義          自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養う。</p>	
協働事業の決算額	350,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年7月～平成24年11月	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35点
------	-----



○『子育て体験学習～いのちの出前講座～』の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

当事業は、かわごえ子育てプランに位置付けられた思春期保健対策の充実を図る事業で、中学生を対象に、実際に赤ちゃんに接したり、育児の様子を聞く機会を持つことで、母性・父性の育成を支援するものである。協働による実施で、市民活動団体の持つ高い専門性を活かした効果的かつ効率的な実施を行うことができた。

実施にあたり、中学校関係者や赤ちゃんの保護者などに当該市民活動団体が丁寧な説明を行ってくださったことで、関係者の十分な理解を得た上で事業を進めることができ、大きな成果を上げることができた。

今年度は9校で実施したが、今後、希望する中学校で継続的に実施できるよう検討する必要がある。

【市民活動団体等】

今年度は初めて開催する学校3校と2回目開催校5校と特別開催校1校の計9校での実施となった。川越市の大多数の中学校で開催希望があったことは中学生へ必要とされている事業であることが改めて感じられた。

今後はすべての希望校で開催できるよう、開催時期や内容の検討が必要である。

また、この事業は子育て支援課が開催中学校を募集し、赤ちゃんとお母さんとのつながりを持つ当団体が中学校へ訪問する親子の募集を行い、開催したものであり、協働だからこそ成し得たものだと感じている。

そして、ふれあい・妊婦体験や誕生学から「命の重さ」「命の力」「命のつながり」を感じた中学生とその協力をして社会貢献できた親子の双方に良い結果をもたらした事業だと評価したい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・協働事業として高く評価できます。一方で企画の内容、問題を洗い直し、よりよい事業をしていただきたい。

・川越市の中学22校のうち2回目開催が5校とのことで、1度も開催されていない中学校があるのでと推測されます。是非、川越のすべての中学生がこの事業を体験できるよう願っています。プラス「連雀町つどいの広場」があつての運営とも思っています。

・大変素晴らしい事業だと思います。大人への過渡期にある中学生に親としての苦労、命の大切さを教える貴重な体験だと思います。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・高く評価したい。行政と市民活動団体の役割分担も適切であり、また、相互の連携も密接に行っており評価する。（開催中学の募集などを団体が行うとなかなか円滑に進まず、行政が行っているなど、本事業は市と団体の協働事業として最も相応しいものである。）

・とても良い事業です。県や市と協力して、川越市内全中学校、高校1年生を対象に行えると健全育成にもつながるのではないかと感じました。継続していけるよう協働していけたらと思います。

・子育て中の母親（父親）たちが「いのち」の出前講座に積極的に参加して下さる姿に「いのち」を守る強さを感じます。中学3年を対象とされているようですが（学校からの要望？）生徒たちの様子を（変化を）知るためにも中学2年での実施は無理でしょうか。今後も引き続き「いのち」の問題（障害児も含め）に取り組んで頂きたいと思います。

・核家族社会の進展、社会の人間関係の希薄化の中で必要かつ重要な事業である。中学生がこの体験を家庭において、また、将来の自己の生活にどう生かしていくか楽しみである。

# 協働事業評価シート

部課名	福祉部子育て支援課	記入年月日	平成25年1月23日
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク		

予算事業名	次世代育成支援対策行動計画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-----------------	--

協働事業名称	父親育児講座		
協働事業の概要	<p>父親が育児に携わる際に役立つ具体的に活用できる実践的な知識を提供するため、父親とその家族を対象に2日間の講座を実施した。</p> <p>日時：平成24年12月2日（日）、平成25年1月20日（日）10時～12時 場所：川越市中央公民館</p> <p>1日目 防災学（講師：防災ファシリテーター・あんどうりす氏） 最先端のアウトドア流の危機管理方法や、古武術を活用した救出法など、自分と家族を守る防災術を学ぶ。</p> <p>2日目 誕生学（講師：誕生学アドバイザー・久保木裕子氏） 赤ちゃんがお母さんのお腹の中でどのように過ごし、どのような力を発揮して生まれてきたのかなど、命の大切さを学ぶ講座。</p>		
協働事業の決算額	66,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成24年6月25日 ～ 平成25年1月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	中	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35点
------	-----



## ○『父親育児講座』の実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

専門性を有する市民活動団体と協働で実施することにより、市民ニーズを的確に捉えた企画や具体的に活用できる知識の提供を行うことができた。育児について意欲的な父親の参加が多く、父親同士の交流の場ともなり、有意義な事業となった。

#### 【市民活動団体等】

2回とも、アンケートを参加者にお願ひしました。  
そのアンケートから、いずれの講座においても、学び終えた父親参加者の多くの方が、ご自身でも驚くような、多くの学びを得られた様です。  
さらに、子育て支援課長さんからも、実践例などのお話をさせていただき、市行政の市民への近さも感じ取って頂けたと信じております。講座中での感想発表などでも、ありがちな「よかったです」ではなく、得られた新しい知識や深い感想の言葉や、より具体的な個々人の目標を聞くことが出来、望外の喜びです。「次回も期待します」との声を沢山戴きました。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	<h1>A</h1>
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

#### 【事業に関するコメント】

- ・男性が育児にかかわる上でヒントになる企画だが、実践的なものを多く入れたものにするなど、プログラム内容を検討していただきたい。
- ・父親育児講座を受講する父親が多いと聞いています。育児について関心を持ち、また、交流の場ともなっている。今後、有意義な事業とし、さらによい企画・運営ができるよう期待します。
- ・子育て世代の男性の参加を求め、ひいては地域力に繋がる事業と思っています。続けていくべき事業と思います。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・“育メン”という言葉が世の中に定着して、男性の子育てへの関心は高まっています。その中で子どもとどう接したらよいかというそもそもの部分で悩んでいる方が結構多くいます。子どもの年代とともに父親がどう子どもと接したらよいかそんなことまで学べると良いのではないのでしょうか。

・育児に参加したいと希望する父親が増えているといわれているが、そのような父親のニーズに応じて行われる本事業の意義は大きく、事業の目的は実現している。ただ、2日間の講座の受講者数が事業の概要に記載されていないので事業がきわめて盛況に行われたのかどうかについては、確認できなかった。

・次年度には個人的にも父親になるのでぜひ、参加者として行きたい。支えていけるように父親ネットワークの確立などをしていけたら、今後より多くの男性が育児を行えるようになると感じました。

・父母が協働して育児を考え、実践していく時代であり、それを強く後押しする事業として必要不可欠である。

# 協働事業評価シート

部課名	福祉部 保育課
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

記入年月日	平成25年3月5日
-------	-----------

予算事業名	地域子育て支援事業
-------	-----------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	子育て支援事業「つどいの広場」	
協働事業の概要	<p>◎「連雀町つどいの広場」の運営          0歳からおおむね3歳までの子とその親が、気軽に集い、交流を図ることで、子育ての悩みを相談したり、情報交換したりでき、互いに学び合い・助け合い・育ち合い、親子が成長する場を提供する「つどいの広場」の実施。</p> <p>場 所：川越市福祉サポート連雀町（2階）          開所日時：週5日（月～金）、午前10時から午後3時まで          ※1日の利用者数 平均約20組          ※月1～2回の講座等の実施</p>	
協働事業の決算額	1,889,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年8月1日 ～ 平成25年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35点
------	-----



○『子育て支援事業「つどいの広場」』の実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

講座の実施やアンケート等により、父親の参加意欲を感じ、土曜日の開室を積極的に行った。結果、予想を上回る父親の参加があり、新たに子育て参加の場を提供できた。

#### 【市民活動団体等】

本事業の運営は4年となる。今年は参加者の声をアンケートで集計し、土曜開室に向けて行政と協議、調整することで、月1回午前中の開室を実現することができた。参加者にも休日に家族で来られる遊び場ができたことと喜んでいただいている。施設等、施設管理については意識をもって行うことを約束している。今後も利用者のニーズに迅速に対応できるよう努めたい。

講座等も大変好評で毎回多くの参加があるため、1つの講座を二部制にするなどしてより多くの方にひろばを知っていただき、気軽に立ち寄れる場の存在をアピールできた。

月1回のミーティングや研修を通し、スタッフもスキルアップしていくことで、よりよい子育て支援活動に携わることができた。また、特に支援が必要だと思われる利用者への対応について、関係部署との連携を図っていききたい。引き続き行政側には、施設面、広報等の協力をお願いしたい。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

#### 【事業に関するコメント】

・悩み多い育児中の親にとって、オアシスの存在は大切だと思います。それだけにこの事業の果たす役割は大きいものがあります。今後もよろしくお願いします。

・参加者の声を生かす活動になってとても良いと思います。

・小さな子どもを持つ家庭、特にお互いの実家が遠い家庭にとってこのような交流の場があることは非常に支えになると思います。感想にもあるように父親の参加を促すならば父親育児講座と一緒に開催してみたいかかでしょう。

・市は「つどいの広場」に参加した親からの子育てに関する悩みや相談を自らの子育て施策の企画や実施にどのように活用しているのか知りたい。

・自宅からあまり出られない家庭も参加が可能になるような工夫をしていただけると、より良くなると感じました。

・父親が子育てに積極的に参加する場を多く提供できるよう一層市と連携していただき開催される事を希望します。

# 協働事業評価シート

部課名	環境部 環境政策課
記入団体名	福原ファームクラブ

記入年月日	平成25年1月7日
-------	-----------

予算事業名	環境基本計画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
---

協働事業名称	かわごえエコツアー事業	
協働事業の概要	<p>昨年度改定された新「グリーンマップ」と、かわごえ環境ネット10周年記念誌「川越の自然」を活用しての環境スポット見学にプラスして事業所の環境への取り組みを見学する。</p> <p>市内の環境の現状と保全活動の大切さを学び自主的に環境活動に参加する人を増やすため趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施するものである。</p> <p>実施日：平成24年10月17日（水）</p> <p>行程：川越駅西口→トーヨーケム→（仮）川越森林公園計画地→三又沼ビオトープ→川越運動公園→川越駅西口</p> <p>参加者：37名</p>	
協働事業の決算額	90,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年10月17日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	4	4.5

合計点数	33.5点
------	-------



## ○『かわごえエコツアー』の実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

かわごえエコツアーも実施回数を重ねており、毎回、新たな企画を考え、実施してきました。協働事業の実施にあたっては、市と団体側双方の信頼関係が大切であり、お互いの立場を尊重した事業運営が必要であるかと思われます。この点については、お互いの信頼関係に基づいた事業運営ができたものと考えております。

そのような関係のなかから、市と民間団体の長所を活かした魅力ある事業が展開できるものと考えています。

#### 【市民活動団体等】

毎回アンケートを回収していて今回29名の方が感想を寄せて下さいました。スタッフ側が8名なので一般参加の方すべてが回答したことになります。アンケートの結果は添付しますが満足度はかなり高かったのではないのでしょうか。

環境ポイントとして巡る場所は環境ネットの活動で調査している所です。運営サイドが概要を知って、案内しますが、参加者の次のアクションを期待する案内でもあります。ボランティア活動として環境に関わる団体の紹介をして参加した方々の環境ボランティア参加を促したいからです。このエコツアーを単なる環境イベントでなく「かわごえ環境活動入門編」として位置づけるにはどうするのか、次回は実際の活動を試みるのが良いのかと思います。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	<b>A</b>
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

#### 【事業に関するコメント】

- ・多くの市民が環境の重さを理解するきっかけとなる良質な企画と考えます。
- ・参加者が固定されないよう広報のやり方を工夫したらよいと思います。
- ・市内の自然環境をまず“知ってもらう”ためには大変有意義であると思います。

目的にあるように課題の解決には、市民一人ひとりが自発的に行動する意識が重要だと思えます。今後はどうしたら自発的な行動を持ってもらえるか考え、事業に反映させるとより良くなるのではないのでしょうか。

- ・本事業は、市民が川越の環境の現状を知り、良い環境の保全活動を行うきっかけをつくるものであり、有意義である。本事業に参加した市民の環境保全の大切さについての理解が深まる等大きな成果を挙げている。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・とても良いと感じました。次年度以降も参加人数が増やせるような工夫をしていただけるとより良くなっていく事業だと期待しています。

・エコツアーを通じて川越の自然を学ぶと同時に環境保護意識の高揚を図るという意味では意義のある事業だと思う。ただ、協働事業としての意義となると課題も残る。

# 協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	記入年月日	平成25年2月22日
記入団体名	川越市女性ネットワーク		

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	男女共同参画市民フォーラム		
協働事業の概要	◎男女共同参画市民フォーラムの実施 開催日：7月21日（土）14:00～16:00 会場：川越駅東口多目的ホール 講師：山口 仲美（明治大学国際日本学部教授） 内容：平安女性たちの傑作を味わう～川越一受けたい授業！～ 参加者数：168人（男性13人・女性155人）		
協働事業の決算額	260,000	円 ※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成24年4月26日 ～ 平成24年8月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	3	3.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	3	3.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	28点
------	-----



○『男女共同参画市民フォーラム』の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

昨年同様、随意契約で実施団体を決定できたため、市民フォーラム事業実施までの時間的な余裕ができた。

本年は市制施行90周年記念事業で例年より予算が多く、著名な講師を招いて開催することができたことで会場を満員にすることができた。次年度以降、限られた予算の中での集客が課題である。

協働委託事業は、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われる。

【市民活動団体等】

当初、予定していた講師の都合が、急きょ、キャンセルとなり、変更せざるを得ない状況となり、短い期間での新しい講師の選択、調整等、大変であったが、多数の参加者、特に男性の参加も多く、盛況であったことは喜ばしく充実感も得られた。

何年か委託事業を受けてきたが、思い通りの評価を頂くことができず、力不足を感じ、充電期間を設けることにした。

実際に見た（参加した）上で、判断を下していただきたいと、メンバー一同が切望している。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・講座テーマが影響しているのか男性の参加者が少ないと思われます。PR等に検討の余地があります。

・講演会で集客することが目的でなく、方法として開催するものであればよいのですが、どうも目的化しているような気がします。川越市民の活動が増えるようなフォーラムを計画してほしいものです。

・参加者の男性が女性に比べ少ないことが気になりました。市に対し、この事業をどのようにPRしてもらいたいかを打合せれば、もっと効果的に人が集められたのではないかと思います。

・男女共同参画ということもあるので、男女の参加比率も意識しながら行うと良いのではないかと思います。

# 協働事業評価シート

記入団体名（部課名）	市民部 男女共同参画課	記入年月日	平成24年1月30日
記入者（職名及び氏名）	川越市女性団体連絡協議会		

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	イーブンライフ in 川越（「ワールドカフェ in 川越」含む）		
協働事業の概要	○ワールドカフェ in 川越（対話する大会）の開催 来場者 110名 1. 開催日 平成24年6月2日（土） 2. 会場 川越市役所 地下食堂 3. 内容 基調講演・アトラクション（コーラス）・ワールドカフェ ○イーブンライフ in 川越の開催 来場者 387名 1. 開催日 平成24年12月8日（土） 2. 会場 川越市やまぶき会館 3. 内容 基調講演 講師：藤田弓子（女優） テーマ：「訪れたい街をつくるために～いきいき女子カ」		
協働事業の決算額	623,587 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成24年4月26日 ～ 平成25年1月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	29.5点
------	-------



## ○『イーブンライフin川越』の実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

- ・この度の事業は、市制施行90周年記念事業として、「観光」をテーマに、女性の観光まちづくりへの参画促進を目標に実施したが、講演、事例発表、パネルディスカッションと、多彩なシンポジウムとなり、大変有意義なものであったと思う。しかし、その為に実施が長時間にわたり、集客の維持に問題があった。
- ・本年度は、例年の当該事業より規模を大きくして実施したため、受託者の協力がなければ実施が困難だった。故に、協働委託事業以外の部分も含め、全体を通しての協力のお陰で実施ができた。
- ・今後は、実施時間等もよく検討し、更に講師やテーマを厳選して、幅広い市民層の参加を促進していきたい。

#### 【市民活動団体等】

- ワールドカフェについては6月実施ということもあり準備期間に多少の無理あるように思いましたが当協議会と市との連携でスムーズに実施する事ができました。参加者の皆さんから「意見交換ができて良かった」という声を聞く事ができました。
- イーブンライフin川越については、今回3部に分かれ当協議会は基調講演を市と「共催」で行いました。今までの経験を活かし情報等の共有も図れました。ホワイエでは加入団体の紹介もし、皆さんに活動のPRもできたと思います。来場者の声に12月の実施日は考えて欲しいという声があり、これからの課題として検討して行きたいと思います。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	<h1>B</h1>
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

#### 【事業に関するコメント】

- ・90周年事業の一つとして開催されたが、テーマが今一つ理解できない。
- ・講演会の次の動きが見えにくい。男女参画ならばこの場に参加した人のステップアップを企画する講座につなげてほしい。
- ・個々の事業の期間が開いてしまって事業の意味も薄くなってしまっているように思います。ワールドカフェについては、参加者が積極的に意見交換をし、大変良い事業であったと思いますが、会場については、もう少し広い場所で開催した方が良かったのではないかと思います。
- ・事業規模と参加者、内容が協働の目的や課題クリアにつながっているように感じられなかった。次につなげていただきたいので、一部の人の声だけでなく、老若男女多くの人の声がきけるように参加者やスタッフを増やしていただければと思います。
- ・男女共同参画型社会の推進は常に必要であるが、本事業の内容にもう少し工夫が必要であったように感じる。